

詩の朗読と音楽に酔う

10月12日、環境改善センターで『詩と音楽の夕べ』が開かれました。テレビなどでもおなじみの俳優の高橋英夫さんと中村たつさんが中原中也などの詩を朗読し、斎藤敏雄さんがギター、小俣達郎さんがリコーダーやパラフォンなどを演奏しました。会場には300人ほどが集まり、熱心に聴きっていました。



スポーツ大会 大9・10月

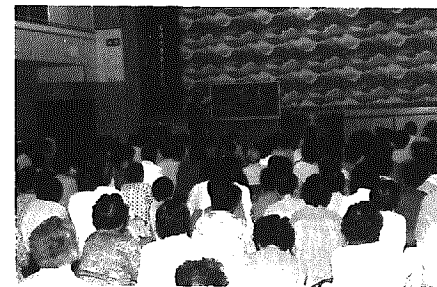
◆第11回黒崎町少女ミニバスケットボール大会(10月7日、総合体育館) ①立仏小チーム②大野小Aチーム③木場小Aチーム 敢闘賞・山田小Aチーム ※8チーム参加。優勝した立仏小チームは12月2日に吉田町で開かれる西浦地区少女ミニバスケットボール大会に出場します。

◆第7回黒崎町公民館対抗ゲートボール大会(10月10日、予選・総合体育館、決勝・金巻コート) ①小平公民館②立仏公民館③金巻公民館 ※36チーム参加。

◆黒崎町民ソフトボール大会(社年第6回、婦人第8回、10月14日、木場町営野球場) ▶婦人の部 ①立仏アイリス ▶壮年の部 ①立仏

お米を使った料理教室
九月二十六日(火)、立仏小でお米を使った料理教室が開かれました。子供たちにご飯のおいしさ、お米の大切さを知ってもらったため開かれたものです。調理クラブ員など三十人が「ライスドック」に挑戦。自分たちで作った「ライスドック」を食べながら普及員から米についての話も聞いたりして、楽しく勉強しました。

サービスイリアに壁画
十月五日(金)、北陸自動車道の黒崎サービスイリアの下り線に木場新田健康づくりの会(会長・柏直善さん)が壁画を描きました。およそ二十人が参加、黒崎町の特産である茶豆、スイートコーンなどをモチーフに色あざやかに仕上げました。サービスイリアに立ち寄ったドライバーの皆さんも感心していました。



町内初めての成分献血
十月九日(火)、農村環境改善センターで、成分献血が行われました。これまでの献血のように血液全部を採取するのではなく、血小板や血しょうなど特に必要とされる成分のみを採取するもので、町では初めて。残念ながら、三台の機械で一日に十五人が限度ということです。「気持ちいいですよ」と献血した人。

健康管理についての講演会
九月二十七日(木)、農村環境改善センターで、町老人クラブ連合会婦人部主催の講演会が行われました。講師は元県立ガンセンター副院長の蒲原宏さんで、内容は高齢者の皆さんに関心の高い「健康管理」についてでした。会場には六七十代の婦人を中心に三百五十人ほどが集まり、講師の話に熱心に聞いていました。

壁画描きはいい気分転換
絵を描くなんて学校を出てから初めてじゃないかな。たまの気分転換にいい試みだと思います。この作業が終わったらパーベキューをしますが、これも楽しみです。
柏直善さん(木場新田・51歳)

おもしろかった色塗り
こんなふうにはペンキを壁に塗るなんていうのは初めてです。童心に帰るようで、おもしろい。皆さんも楽しんで色を塗っていますね。
山際良三さん(木場新田自治会長)

第5回町民ダンスパーティ
◆11月23日 午後6時30分～9時
◆総合体育館
◎会費：前売 600円、当日 800円
◎入場整理券販売所：教育委員会(☎377-3101)または総合体育館か北部地区公民館へ

第3回芸能・音楽発表会
◆11月18日(日) 午前10時～
◆農村環境改善センター
詩吟、大正琴、合唱、ギター、華踊会の発表会です。お誘いあわせのうえ、多数ご来場ください。

次の日、私たちは世界のビールの発祥地と言われているビルゼンの街を訪ねることにした。プラハを挟んで、前日訪れたターボルの街とは反対の方向へ、急行電車で一時間半ほど走ったところにある。世界のビールの発祥地と言っても、それを誇示する看板とか、宣伝めいたものは何一つ見当たらなかった。日本ならビール工場直営のビアホールか何かがあつて観光客でこったが、この街にはそんなものはどうもありません。かきかきあつたにしても言葉が通じなくて聞くにも聞けず、きれいな街中のレストランでこれぞ本場のビールの味と勝手にジョッキを傾けた次第である。

私の東欧見聞録③

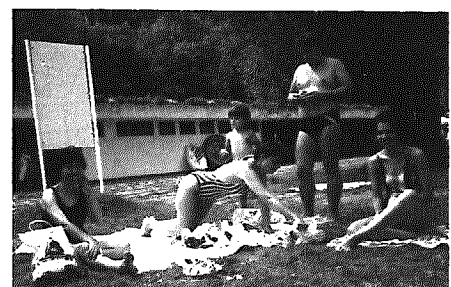
東欧の食糧事情、そして日本を考える

味つけなしで食べているのが普通であった。野菜類に比べ肉類は比較的豊富なようだ。ホテルの朝食はほとんどといっていいほどセルフサービスのバイキングで、高級ホテルのせいかもしれないが、毎日朝からハム、ベーコン、ソーセージ、それにビーフシチューにポイルドチキンなどありとあらゆる肉料理が並ぶ。それに目玉焼きにゆで卵と、動物タンパクばかりで、野菜は例のピーマン、キュウリ、トマトなどをスラ



ビルゼンの町での野菜直売

日本人にはとても考えられない余暇の楽しみ方だ。そうした暑い夏でもちょっと日陰に入ると、ホッとする涼しさがそこにあつた。それは日本のような湿度の高い夏に生まれついていた者には想像もつかないことである。だから、近代的な高級ホテル以外は、街中どこへ行っても、また電車にもタクシーにも、エアコンはまったく見られないし、またその必要もないようだった。先にプラハの街を「あらゆ



水簾姿での日光浴

文化遺産を守り残して行くために、時の為政者に屈した。涼しさがそこにあつた。それは日本のような湿度の高い夏に生まれついていた者には想像もつかないことである。だから、近代的な高級ホテル以外は、街中どこへ行っても、また電車にもタクシーにも、エアコンはまったく見られないし、またその必要もないようだった。先にプラハの街を「あらゆ

イスしたものの程度である。これはホテルに限らず、ホームステイ先の家庭でも同様の傾向があったようだ。自分の家庭菜園でいるような野菜を作っているの、野菜について特に関心をもって見てきたつもりだが、こうした野菜不足をどう結論づけたらいいのかかわからない。今年が特に野菜が不作なのか、それとも通常の食料事情で特に野菜不足などではないところなのか、その辺のところは、何とも調べようもなかった。

竹石貞三郎
る歴史的建築様式の博物館」
と書いたが、プラハもブタペストも、東欧の古都のすべてが有史以前からずっと戦乱の歴史の中枢にあつた。ことにチェコは第二次世界大戦中はナチスドイツの全面占領下に置かれるという悲運に見舞われたが、いかなる戦時下でも歴史的建造物はほとんど無傷のまま残され、現代へ引き継がれ、そしておそろくまた次の時代へと引き継がれていくことは確かであろう。これら東欧の国々は、民族を守り、

(終わり)